

学校関係者評価の結果(令和6年1月30日実施)

新居浜市立角野中学校

第4回角野校区学校運営協議会において、保護者の評価、生徒アンケート、教職員の評価とそれらの考察について説明を行い、委員から以下のような意見を得た。

- 家庭学習の習慣のところで、生徒の「取り組めていない」が多いところは、家庭や自身の努力も必要だが、どうすればよいか悩んでいる生徒もいるのではないかと思った。
- 地域の活動で、中学生がボランティアとして活動している姿を多く見かける。生徒は地域活動に積極的に参加しており、郷土愛が育っている。また、小学生の良いお手本になっていてありがたい。今後は、学校から若い先生も参加し、子供や地域の人とコミュニケーションを取ってほしい。
- 教職員と保護者(生徒)との評価に差がある項目が気になる。「人間関係づくりに努めているか」については、学校側の思いや考え、声掛けについて、できるだけ相手の思いに寄り添っていく必要がある。また、「生徒の良いところを認め伝えているか」については、教職員は伝えていると思っているが、生徒はそう思っていない。せつかくの思いが、生徒に届けば、生徒も自信を持ち、がんばれると思った。
- 生徒は学習や行事に一生懸命取り組んでおり、教員もわかりやすい授業や、充実した活動ができるよう支援していると思う。職場体験学習や家庭科の時間に、中学2年生と交流する機会があったが、どの生徒も優しく、楽しい時間であった。今後も連携し、交流や情報交換をしていきたい。
- 家庭学習の習慣、学校や社会のルールなどは、下級生が低い傾向にあるが、三年生になると、進学などを意識してか、高く改善されており、心配ないと思った。また、先生方がしっかりと導かれていることがアンケートに表れている。今後も、有益な教育活動を継続していただきたい。
- 不登校(不登校傾向含め)、いじめ(いじめ傾向含め)を受けている生徒、教職員はいないだろうか。早期発見と対策に努めてほしい。

アンケート結果から、全体的に肯定的に捉えている人が多いことが分かった。また、学校運営協議会の委員の方からも温かいご意見をいただいた。保護者からの厳しい評価については、学校教育へ関心を持ってくださったことに感謝し、全教職員で真摯に受け止め、改善を目指している。今回の貴重な意見を生かし、児童・生徒の健やかな成長のための教育を、今後も実践していきたい。